

..... 編集後記 .....

◆暖冬と言われたこの冬でしたが、春を間近にした今、寒さがぶり返し、大雪やインフルエンザ再流行といった話題が聞かれますが、皆様お元気で過ごしてでしょうか？

◆昨年10月の新潟県中越地震の調査研究は、まだまだ始まったばかりですが、活断層研究センター他の皆様に調査の中間報告をお願いし、本号を「新潟県中越地震」の特集号としました。まず、地質調査情報センターの岡井氏には、自然災害発生時、産総研地質調査総合センターが社会的役割を果たすため、どんな対応をするのかについて中越地震を例に紹介していただきました。

◆丸山氏他のみなさんは、震源地周辺の詳細な調査を行い、地表に現れた地震断層のさまざまな性状を報告、岡村・柳沢氏は魚沼丘陵の褶曲構造と今回の地震の関係を紹介し、褶曲構造の解析が地震予知にも役立つ可能性を示されました。

◆また吉見氏他のみなさんは、大きな被害が発生した地域を詳細に住宅一戸一戸の被害状況まで調査し、それぞれの地域の地質的な生い立ちとの関係を詳しく解析されました。宮地氏他のみなさんは、信濃川沿いの低地における液化化現象の発生状況を詳細に調査し、それぞれの地域の地質的環境との関係を詳細に検討されました。これらは被災地の再建を図る上で、重要な情報となるでしょう。

◆桑原氏他のみなさんは、今回の地震の震源域における微小地震の観測データから、今回の地震を

もたらした地下構造や発震機構を検討中とのこと、今後の予知に役立つ成果を期待しましょう。研究成果を社会に還元し、防災に貢献することは地球科学の大きな役割の一つ。研究の進展による新たな知見や情報を本誌では引き続きお知らせしていきます。

◆特集以外では有田・須藤氏が周防大島を例に護岸堤の設置により砂浜が無惨に失われた例を紹介し、護岸工事のあり方に一石を投じています。佐竹氏は論文作成の際の共著者の貢献と責任について紹介してくださいました。日本人ややもするとなおざりにしがちな問題、これを機に考えてみたいものです。

◆高橋裕平氏にはモンゴルの地質を学ぼうとする人のための英文CD「モンゴル地質入門」の概要を紹介いただき、高橋 浩氏他のみなさんには5分の1地質図幅「須原」の地質概要を、困難を極めた調査の様子とともに紹介していただきました。また井川氏他のみなさんには「つくば科学フェスティバル」での化石キャスト作りの様子を紹介していただきました。

◆地質標本館だよりでは昨年夏以降の行事の様子が紹介されています。書評では石原特別顧問に杏掛俊夫氏訳「A.マグヌス鉱物論」を、脇田氏に「日本列島重力アトラス」を紹介していただきました。

◆以上、多彩な3月号でしたが、桜咲く4月にはより魅力的な1冊をと編集奮闘中です。（須藤定久）

地質ニュース編集委員会

委員長：須藤定久

副委員長：山本茂男

委員：高木哲一・丸山 正・高橋裕平・

光畑裕司・飯笹幸吉

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3603

Fax. 029-861-3602

地質ニュース

第607号 2005年 3月号

定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費

2005年3月1日 発行

編集

発行人

発行所

産業技術総合研究所

株式会社 実業公報社

代表者 林 光生

株式会社 実業公報社

東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073

Tel.(03)3265-0951 Fax.(03)3265-0952

http://www.jitsugyo-koho.co.jp

E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp

振替口座 00110-6-32466

麹町局私書箱第21号

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

© 2005 Geological Survey of Japan  
●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。